

広報 おきたま病院

第7号
平成25年8月

各種
指定等

救命救急センター
地域がん診療連携拠点病院
災害拠点病院

第二種感染症指定医療機関
へき地医療拠点病院
臨床研修指定病院

SARS入院治療指定病院
エイズ治療拠点病院
地域医療支援病院



目次

- p02 院長あいさつ
- p03 公立置賜総合病院「相談支援センター」のご案内
- p04 シリーズ・健康講座・診療科紹介 肺がんについて
- p06 施設紹介 最新鋭MRI導入
- p07 お知らせ
- p08 公立置賜総合病院の医師をご紹介します

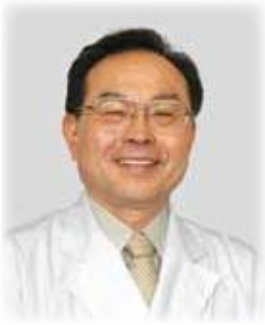
病院理念

心かよう信頼と安心の病院



運営方針

- 1 患者本位の医療を展開いたします。
- 2 高度・救急医療を提供いたします。
- 3 健全経営の確保に努めます。
- 4 人材を育成いたします。
- 5 地域連携の推進に努めます。
- 6 快適な療養環境を提供いたします。



新任ご挨拶と「がん診療」について

置賜広域病院組合医療監
(兼) 公立置賜総合病院院長

しぶ ま ひさし
洪 間 久

あいさつ

この度、4月1日付で着任しました洪間久と申します。置賜地域での勤務は初めてですが、精一杯勤めたいと思っていますので宜しくお願いいたします。

私は過疎地の病院に勤務し、その後、山形県立中央病院で約20年間外科の仕事をしておりました。中央病院は、平成13年5月に山形市霞城公園前から現在の山形市青柳地区に改築移転となり、私は、その時、「地域医療連携部門」の立ち上げを任されました。この事は、その後の仕事に大いに役立ったと思っています。

6年前にメスをおいて県立新庄病院に勤務する事になりました。若い時から目指していた「総合診療」を実践するためです。どんな患者もまずは診察をして、自分で解決できるものは自分で継続して診療を続けます。自分で解決できない場合は、患者さんの背景(家庭・経済・地域状況などは極めて重要)に十分配慮した「お勧めコース」を提供するのです。同僚・スタッフの理解と協力により本当に楽しく生きがいを持って仕事をすることができました。

この度の人事で、こういったわがままはできない立場になりましたが、これらの経験を生かしながら公立置賜総合病院をはじめ、サテライト医療施設でできる事を考えて行きたいと思っています。

がん診療連携拠点病院

今回は「がん診療連携拠点病院」特集ですので、少し解り易く説明したいと思います。

平成18年に制定された「がん対策基本法」に基づき、厚生労働省はがん診療の中核となる施設を「がん診療連携拠点病院」として指定することになりました。山形県では、各都道府県に原則1施設指定される「都道府県がん診療連携拠点病院」に山形県立中央病院が指定されています。また、二次医療圏ごとに1施設指定される「地域がん診療連携拠点病院」には、置賜地区では公立置賜総合病院が指定を受けており、他に山形大学医学部附属病院、山形市立病院済生館、日本海総合病院、山形県立新庄病院があります。これら6施設がお互いに診療や研修の実施、情報の収集提供について連携し、全国均一ながん診療が行われる体制となりました。

つまり、5大がんといわれる肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がんをはじめ、ほとんどのがんについて全国的な標準治療を当院で受けることができ、また、治療を完結することができるということです。

しかしながら、現実的にはさらに専門性の高い分野もありますので、その場合は最新の情報を提供し、治療施設を紹介させていただきます。

がん診療に正しい理解を

一概にがんといっても、たちが悪く進行の早いものから、放置してもほとんど進行しないものまで多種多様です。がんの告知を受ければパニック状態になるのは当然ですが、気持ちが落ち着いたら家族と一緒に詳しい説明を受け、納得できるまで質問をして自分にとって最良の治療を選択してください。当院では「患者さん中心の、高度な医療の提供」を基本方針としており、がん診療に関する情報を幅広く提供するとともに様々なご相談に対応させていただく「相談支援センター」を設置しておりますので、是非ご活用ください。「地域がん診療連携拠点病院」の指定に誇りを持ってこれからもがん診療に取り組んでまいりますので、地域住民の皆さん、地域の医療関係者の皆さんのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

公立置賜総合病院「相談支援センター」のご案内

「がんかもしれない」と言われた方へ

不安な気持ちでいっぱいだと思います。でも何よりも、いま大切なのは、正しい診断のため、医師の指示のもとに必要な検査を受けることです。

そして、「がん」と言われた方へ

不安やショック、落ち込んで何も考えられないことは、誰にでも起こることです。一人で悩まず、まずは相談してみましょう。あなたを支えてくれる人がいます。

相談 ● どうしたらいいの?

「どの科を受診したらいいのかわからない?」
「精密検査を受けてくださいと言われた…」
「家族ががんかもしれない…」
「突然がんと言われたけど不安で…」
「悪いことばかり考えてしまって…」
「医療費の支払いが大変…」

情報 ● 信頼できる情報はどこにあるの?

「説明がむずかしくてよくわからない…」
「検査って? 治療法は? 副作用は?」
「今の標準的な治療はどんなものだろう?」
「インターネットには情報が多すぎて…」
「セカンドオピニオンって?」

治療と生活

● これからどうなるの?

「治療はどれくらい続くのか、どんなふうにつらいのか…」
「仕事はやめないといけないのか?」
「家族や友人、職場の人に、どう説明してどう接すればいいんだろう…」
「介護保険についてわからない?」
「障害年金には該当するの?」
「自宅へ退院したいけど1人で不安…」
「施設を紹介してほしい?」



【相談窓口】のご案内

当院では、すべての病気や診療に関する相談をお受けする「相談窓口」を開設しております。

● 相談窓口の場所: 1階 相談支援センター前 ● 受付時間: 9:00~17:00 (平日) ● 相談無料

☎0238-46-5000 内線1901

仕事を続けながら…少し休んで社会復帰して…

自分らしい生活を続けている人はたくさんいます

がんと診断された時から、体の痛みだけでなく、心のつらさについても、緩和ケア、相談支援センター、患者会など、あなたや家族を支えてくれる仕組みが、少しずつ広がっています。いつでも遠慮せず、まわりの人の助けをかりましょう。

【患者サポートサロン】のご案内

がん患者さんと そのご家族の方々へ

- ①気軽に不安や悩みを語れる場の提供
- ②情報提供や学び合いの場の提供を行っています。
今年も5回のサロンを計画しておりますので、ぜひ多くの方々の参加をお待ちしています。

サロン予定	
5月23日	ヨガ体操でリフレッシュ
6月25日	在宅での介護を支援いたします
7月25日	「緩和ケア」を知っていますか
9月	スキンケアを学びましょう
10月	料理教室「スープで元気に」

*9月以降の日程は約1ヶ月前にお問い合わせ下さい。

タオル帽子を作ってみませんか

がん治療で髪が脱毛した方へ回復の思いを込めて手作り帽子を作成して下さるボランティアの方を募集しています。

また、タオル帽子を作るためタオル（ガーゼタオルも可）を集めております。

*新品・白以外・業者名がないもの
をお願いします。

ご協力いただける方は相談窓口、
新患受付までお願いいたします。



お問い合わせ先

公立置賜総合病院 医療連携・相談室
相談支援センター

☎0238-46-5000 内線1901

肺がんについて

呼吸器外科 ● 山田 昌弘



肺がんの疫学

近年、肺がんは日本人のがんによる死亡原因のトップとなりましたが、まだ増加する傾向にあります。年齢別にみた肺がんの罹患率^{りかん}、死亡率は、ともに40歳代後半から増加し始め、高齢ほど高くなります。罹患率、死亡率は男性の方が女性より高く、女性の3倍から4倍ののぼります。当院での過去10年間の肺がん手術統計を見てみると、手術時の平均年齢は71歳（全国平均より5歳高い）で、女性1に対して男性2割合でした。手術例も男性が多いのですが、予後は女性の方が良い傾向にありました。また、肺がんのリスク要因を考える上で、喫煙習慣を切り離して考えることはできません。日本人を対象とした研究（2008年）では、喫煙者の肺がんリスクは男性で4.8倍、女性で3.9倍という結果でした。

肺がんの分類（組織型）

肺がんは、表1のように、小細胞がん^{せうせうせうがん}と非小細胞がん^{ひせうせうせうがん}の2つに大きく分けられます。がんの組織型では、近年扁平上皮がんが減少し、腺がんの割合が非常に高くなっています。

表1

	組織分類	発生場所	特徴
非小細胞肺がん	腺癌	肺野部	肺癌の中で最も多い。女性の多くは非喫煙者。症状が出にくい。
	扁平上皮癌	肺門部	男性に多い。ほとんどが喫煙者。
	大細胞癌	肺野部	比較的まれ。進行が早い。
小細胞肺がん	小細胞癌	肺門部	男性に多く、ほとんどが喫煙者。進行が非常に早い。

検査と診断

肺がんの一般的な症状としては、治りにくい咳、血痰、胸痛、呼吸時のゼーゼー音（喘鳴）、息切れ、声のかれなどがありますが、これらは必ずしも肺がん特有のものではありません。また、肺がんは進行しないと症状がでない場合が多く、検診などの胸部X線検査やCT検査によって発見されることもあります。統計上、このような検診で発見された肺がんは症状等で発見された肺がんよりも予後が良いことがわかっておりますので、必ず検診を受けましょう。

肺がんが疑われるときにはまず胸部X線検査やCT検査、血液検査（腫瘍マーカー）などを行い、その後気管支鏡検査などを行って肺がんの組織を採取して診断を確定します（病理検査）。また、別の臓器への遠隔転移の有無を調べるために、脳MRI検査、腹部CT検査、骨シンチグラフィ、FDG-PET検査等を行います。これらを総合して肺癌の病期を決めます。

病期とは、がんの進行の程度を示す言葉で、英語をそのまま用いてステージともいいます。病期にはローマ数字が使われ、肺がんでは、0期、I期（IA、IB）、II期（IIA、IIB）、III期（IIIA、IIIB）、IV期に分類され、以下の3項目によって決められています。

原発巣の大きさや周囲の組織との関係（T：原発腫瘍）

胸部のリンパ節転移の程度（N：所属リンパ節）

原発巣以外の他臓器への遠隔転移の有無（M：遠隔転移）

これらT・N・M因子による表記の仕方をTNM分類といい、数字の大きい方が進行度が高いことを表します。

トピックス!

非浸潤癌

近年CT検査の普及により、小さな肺癌および「すりガラス影」を主体とした腺癌の一亜型である細気管支肺胞上皮癌が多数発見されるようになってきました。この中には100%リンパ節転移を生じない非浸潤癌も含まれており、このような肺癌は手術の切除範囲を縮小することが理論的に可能です。

外科治療

非小細胞肺がんのⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB期、(時にⅢA期)は手術の適応になります。術式は、がんの場所や広がり、浸潤度によって、最も小さく切る楔状切除や区域切除から、標準的な肺葉切除、片側の肺全てを切除する片肺全摘などがあります。手術は治療効果の高い方法ですが、切除する範囲が大きいと手術後に息切れなどが起こることがあり、術後に呼吸機能がどれだけ残るかが、手術を行うかどうかの判断基準になります。

小細胞がんの場合、Ⅰ期のみが手術の対象となりますが、頻度的に極めて少なく、手術後に抗がん剤治療が必要となります。

肺がんの手術では、多くの場合リンパ節も切除し、がんがリンパ節に転移しているかどうかを調べます。これをリンパ節郭清といいます。

当院では図1のように、脇の下に小さな開胸創(ウインドウ)を置き、さらに12mmと5mmの穴(ポート)を開けて内視鏡を併用した手術を行っております。

図1



胸腔鏡併用(ハイブリッド)による肺葉切除

表2

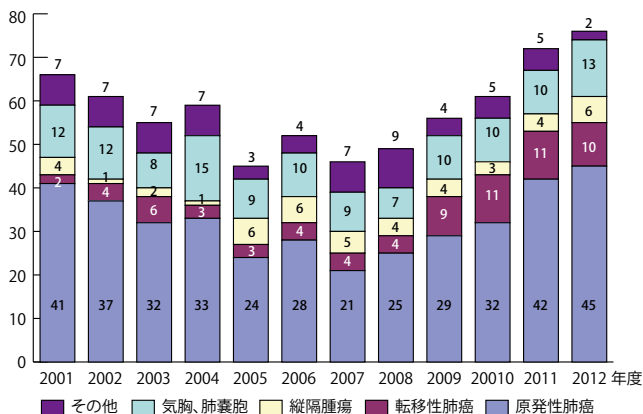


表2は開業以来の当院の年間手術件数の推移です。呼吸器外科全体の手術件数も増加していますが、肺がんの手術件数が年々増加傾向にあります。

抗がん剤治療

抗がん剤の治療成績は、少しずつ向上してきていますが、まだ十分とはいええず、抗がん剤だけで肺がんを根治することは不可能です。非小細胞肺がんでは病期に応じて手術や放射線治療と組み合わせて、あるいは単独で抗がん剤治療を行います。小細胞肺がんは診断された時点で転移がみられることが多い一方で、非小細胞肺がんに比べて抗がん剤治療の効果が高いため、抗がん剤治療が治療の中心になります。

トピックス!

遺伝子変異

最近、肺腺がんの原因遺伝子の発見が相次ぎ、これらの遺伝子異常がある場合、的確に薬を選んで狙い撃ちすれば(分子標的治療)、大きな治療効果が期待できることが分かってきました。現在保険で2種類の遺伝子変異が検査でき、その治療薬が使えます。

さいごに

当院での肺がん手術の平均年齢は71歳で、全国平均よりも高いのですが、術後生存率はほとんど変わりません。高齢者でも合併症が少なく、安心して手術できるよう努めておりますので、いつでもご相談ください。



最新鋭MRI導入



Discovery MR750w 3.0T

今年度4月から3.0T-MRI装置『Discovery MR750w 3.0T』（GE Healthcare社製）が稼働を始めました。これにより、当院のMRI（全身用磁気共鳴画像診断装置）は、開院時から使用してきた1.5T（テスラ）-MRI装置とあわせて2台体制となりました。

3.0T-MRI装置は、山形県内では4施設目、置賜地方では初となる高磁場の最新鋭装置となります。

MRI検査とは



MRI検査とは、人体の中に豊富に存在する水素の原子核（プロトン＝陽子）の挙動を画像化したもので、水素原子が高い磁場の中（MRI装置）

で、ある一定の周波数の電波を照射することで、さまざまな角度の画像を得ることができる検査です。そのため、放射線被ばくも無く安全に検査をすることができます。

ただし、体の中に金属を埋め込んでいる方や妊婦の方など、安全に検査ができない場合もあります。また、検査中の音も大きく検査時間も30分位要するため、患者様の協力も必要となります。

MRI検査は、発症して間もない脳梗塞などCT装置ではなかなか診断に結びつかない急性期の病気の検査に利用され、救命救急センターを併設する当院の重要な検査のひとつとしての役割を担っています。

また、全身を部位ごとに詳細に検査することが可能な

ので、造影剤という薬剤を用いてがんの診断等にも役立ちます。

特に、脳腫瘍や乳がんの広がり診断、肝臓がん等の腹部臓器の診断に用いられます。

3.0T（テスラ）-MRI

この度当院に設置された3.0T-MRI装置の最大の特徴は、磁場強度が1.5T装置に比べ2倍となったことで、画質が今までに比べ良くなったことです。

さらに、従来60cm内径の筒状（トンネル）の中に体を入れて検査を行っていたのですが、内径が70cmと広がり検査環境が改善しました。様々な体格の患者様や、閉所恐怖症の患者様への対応が良くなっています。

内径の幅を大きくすると静磁場の均一性や送信電波の均一性などのMRI装置の基本性能が低下してしまう課題を、最新鋭の技術を搭載したことで克服し、高画質化と利便性の両立を実現した装置になっています。

待ち時間が短くなり、負担が少なくなりました

MRI検査では、検査する部位にコイルと呼ばれる専用の道具を付けて検査をします。従来は検査の度に専用コイルを交換して検査を行っていたのですが、今回導入した3.0T-MRI装置では寝台に専用コイルを初めから埋め込んでいるため、検査効率が向上しお待たせする時間も短くなりました。



腰が曲がるなどして長時間寝ている姿勢が困難な患者様でも、新しい装置では寝台に敷くパッドに、体との接点に負担がかからないように設計された低反発性素材を使っており、長時間寝ても無理のない楽な姿勢での検査が行えるようになりました。

新しい検査室は照明にLED電球を使用し、内装も白を基調とした明るい室内とで、より検査に対する不安を感じないような設計になっております。

新装置が地域の皆様の安心・安全を支える一助となれば幸いです。

（放射線部副技師長 土屋一成）

上手な総合病院のご利用について

●かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医とは、私たちの身近にいて日常的な診療や健康管理を行ってくれるお医者さんです。まず、かかりつけ医に受診することにより、比較的早く診察を受けることができます。

救命救急センターは重篤な状態の患者さんから優先して診療を行いますので、長時間お待ちいただく場合がございます。

●紹介状をお持ちください

置賜地域の中核病院として、公立置賜総合病院は、専門性のある外来診療と高度で専門的な入院診療を行っています。

日常的な病気やけが等については、まずは、お近くの開業医や病院などの医療機関(かかりつけ医)を受診してください。専門的な検査、診療が必要な場合には、かかりつけ医がその場で検査予約、診察予約を行うなど、当院への紹介手続きが行われます。

どこの医療機関にもかかったことがないという場合でも、お近くの医療機関を受診すれば、患者さんにとって適切な検査、診察がスムーズに行われるよう、日頃から緊密な連携をとっております。

●当日の来院時間について

予約時間の前に検査や問診がある場合がございます。時間には余裕をもってご来院いただきますようお願いいたします。

※なお、紹介状を持参せずに受診された場合には、「非紹介者初診加算料」として1,570円が加算されますので、あわせてご理解をお願いします。

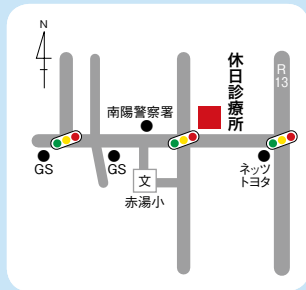


休日診療所を利用しましょう

南陽東置賜休日診療所

診療日/日曜日・祝日
 診療時間/午前9時から
 午後5時まで
 診療科目/主に内科、小児科
 ※受診の際は、必ず保険証をご持参ください。

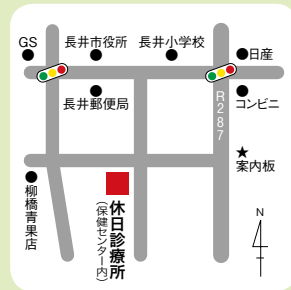
南陽市栲塚420-7
 ☎0238-40-3456



長井西置賜休日診療所

診療日/日曜日・祝日
 診療時間/午前9時から
 午後5時まで
 診療科目/内科、小児科、外科
 ※受診の際は、必ず保険証をご持参ください。

長井市保健センター内
 ☎0238-84-5799



山形県救急電話相談

相談日●毎日 相談時間●19時～22時(3時間)

15歳未満

小児救急電話相談

プッシュ回線・携帯電話

#8000

ダイヤル回線・IP電話・PHS

023-633-0299



15歳以上

大人の救急電話相談

プッシュ回線・携帯電話

#8500

ダイヤル回線・IP電話・PHS

023-633-0799



病院からのお知らせ

病院ボランティアを募集しています

公立置賜総合病院では、地域に開かれた病院として、ボランティアの皆様の温かいお気持ちと、貴重なお時間をいただき、より行き届いた患者サービスを提供したいと考えております。

【活動内容】

- 患者用図書整理
- 車イス点検
- 買物代行
- 来院者の誘導
- 案内、車イス患者の介助など

お問い合わせ

公立置賜総合病院 総務企画課 総務係
 ☎0238-46-5000(代) 内線2122

●救急医療講習会

月日	主 題 (仮題)
8月29日(木) 第41回	—誤飲と中毒—
10月24日(木) 第42回	—小児科、婦人科、泌尿器科の腹痛—
1月23日(木) 第43回	—外傷Ⅱ— ①腹部外傷について ②胸部外傷について ③顔面外傷について ④口腔外傷について

●特別講演会

月日	主 題 (仮題)
9月30日(月)	WHO「安全な手術のためのガイドライン」について
10月31日(木)	DVT防止研修会 肺塞栓防止とその対応
11月28日(木)	開院13周年記念講演会
2月27日(木)	研修医発表会

公立置賜総合病院の医師をご紹介します

平成25年7月1日現在

診療科 ・ 主な職名	氏 名
院長(兼)救命救急センター所長	洪間 久
副院長(兼)輸血部長(兼)医療安全部長(兼)人間ドック室長	佐藤 伸二
副院長(兼)医療情報部長(兼)手術部長	薄場 修
副院長(兼)診療部長(外科系四)(兼)泌尿器科科長	久保田洋子
副院長(兼)診療部長(外科系二)(兼)放射線部長	金城 利彦
副院長(兼)診療部長(外科系六)(兼)リハビリテーション部長	林 雅弘
副院長(兼)医療連携部長(兼)呼吸器外科科長	山田 昌弘
診療部長(内科系一)	齋藤 孝治
消化器内科科長(兼)内視鏡室長	渡辺晋一郎
消化器内科医長	武田 忠
消化器内科医長	大村 清成
消化器内科医長	安藤 嘉章
消化器内科医長	高野 潤
消化器内科医師	齋藤 裕之
消化器内科医師	小林 敏一
消化器内科医師	堀内 素平
消化器内科医師	和田 佳子
消化器内科医師	勝見修一郎
診療部長(内科系四)(兼)循環器内科科長	池野栄一郎
循環器内科医長	山内 聡
循環器内科医長	北原 辰郎
循環器内科医長	加藤 重彦
循環器内科医長	石野 光則
診療部長(内科系三)(兼)内科(呼吸器)科長	稲毛 稔
内科(呼吸器)医長	荒生 剛
内科(呼吸器)医長	小坂 太祐
内科(呼吸器)医長	福崎 幸治
内科(腎臓・透析)医長(兼)人工透析室長	真島 佑介
内科(腎臓・透析)医師	星川 仁人
内科(腎臓・透析)医師	松本 麻実
内科(血液)科長	山本 雅一
診療部長(内科系二)(兼)内科(糖尿病・内分泌)科長	江口 英行
内科(糖尿病・内分泌)医師	伊藤 正裕
内科(糖尿病・内分泌)医師	安日 智
神経内科科長	栗村 正之
小児科科長	仙道 大
小児科医長	川上 貴子
小児科医長	古山 政幸
小児科医師	高橋 辰徳
精神科科長	赤羽 隆樹
精神科医長	鈴木 春芳
精神科医師	佐藤 洋三
精神科医師	塙 歆

診療科 ・ 主な職名	氏 名
診療部長(外科系一)	小澤孝一郎
外科(一)科長	長谷川繁生
外科(二)科長	東 敬之
外科医長	水谷 雅臣
外科医長	森谷 敏幸
外科医長	神尾 幸則
外科医師	間瀬 健次
外科医師	横山 森良
心臓血管外科科長(兼)臨床工学室長	後藤 智司
整形外科科長	大楽 勝之
整形外科医長	松木 宏史
整形外科医長	山川 淳一
整形外科医長	渡邊 忠良
整形外科医師	諏訪 通久
整形外科医師	澁谷純一郎
整形外科医師	五十嵐貴宏
脳神経外科科長	土谷 大輔
脳神経外科医師	渡辺 茂樹
診療部長(外科系五)	沼崎 政良
診療部長(中央診療系)(兼)産婦人科科長	手塚 尚広
産婦人科医長	高木 潤一
産婦人科医師	榊 宏論
診療部長(外科系三)	高村 浩
眼科科長	高橋 知美
耳鼻咽喉科科長	櫻井 真一
耳鼻咽喉科医長	和氣 貴祥
耳鼻咽喉科医師	杉山 元康
皮膚科科長	松永 純
泌尿器科医長	槻木 真明
泌尿器科医師	小澤 迪喜
歯科口腔外科科長	平 幸雄
歯科口腔外科歯科医長	小林 武仁
歯科口腔外科歯科医師	石川 恵生
形成外科医師	菊地 憲明
麻酔科科長	山口 勝也
麻酔科医長	岩田 香織
麻酔科医長	那須 郁子
放射線科科長	伊東 一志
放射線科医長	菅原 千智
放射線科医長	小田 敦子
放射線科医師	柴田芽亜理
臨床検査部長	布山 繁美
人間ドック室医師	藤岡 美穂
救命救急センター長	岩谷 昭美
救命救急副センター長(兼)集中治療室長	佐藤 光弥
救命救急センター医長	久下 淳史
救命救急センター医師	荒木有宇介

☆各科の曜日ごとの診療担当医師は当院ホームページに掲載しております。トップページ⇒「入院・外来等のご案内」⇒「外来担当医師一覧」

発行 置賜広域病院組合／公立置賜総合病院
編集 広報委員会(事務局:総務企画課 企画担当) ☎0238-46-5000

ホームページアドレス
<http://www.okitama-hp.or.jp/>